

公衆衛生看護管理論

単位数（時間数）：1 単位（15 時間） 必修/選択：選択 履修年次：3 年次 開講時期：後期

科目責任者（職位・氏名）：教授・鈴木るり子

科目担当者（職位・氏名）：講師・松岡真紀子、助教・石田知世、助教・磯島実奈

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：86

■ 授業概要

保健師として質の高いサービスを提供するために、公衆衛生看護管理の概念と機能、さらに人的資源・物的資源・経済的資源等の管理能力やリーダーシップ等について総合的な知識を修得できるよう教授する。

■ 到達目標

1. 公衆衛生看護管理の定義・目的・意義、特徴について理解し、説明できる。
2. 公衆衛生看護管理の仕組みと基本（地区管理、組織・運営管理、事例管理、業務管理、予算管理、情報管理、人事管理）について理解し、説明できる。
3. 健康危機管理の定義・目的・意義・方法について理解し、説明できる。

■ 教育内容

公衆衛生看護管理論

■ キーワード

公衆衛生看護管理、地区管理、組織・運営管理、事例管理、業務管理、予算管理、情報管理、人事管理、統括保健師、健康危機管理、リスクマネジメント

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	ガイダンス 公衆衛生看護管理の目的と機能 地域ケアの質の保証	ガイダンス 公衆衛生看護管理の目的と機能 サービスを提供する組織・機関の組織診断 地域におけるケアの質保証の方法 公衆衛生看護におけるエビデンスの活用	鈴木
2	公衆衛生看護管理の基本①	公衆衛生看護管理の組織運営と管理 地区管理、事例管理、業務管理とその実際 (起案文書の作成含)	鈴木
3	公衆衛生看護管理の基本②	人事管理と体系的な人材育成 (キャリアラダー・キャリアパス、統括 保健師)	鈴木
4	公衆衛生看護管理の基本③	予算管理	鈴木
5	公衆衛生看護管理の基本④	情報管理	鈴木
6	公衆衛生看護管理機能	市町村・保健所における公衆衛生看護管理 機能の特徴（人材育成含）	鈴木
7	公衆衛生看護管理の在り方と重要性	演習 課題事例をもとに公衆衛生看護管理の在 り方と重要性について考察する	共同
8	健康危機管理の基本	健康危機管理の定義 保健所・保健師の役割 健康危機管理の分野 広域的視点と健康危機管理体制 リスクマネジメント	鈴木

■ 履修条件

公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護活動論Ⅰ、公衆衛生看護活動論Ⅱの単位を取得していること。

■ 成績評価方法

期末試験 90%、演習 10%

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・希望者に対して、試験のフィードバックを行う。希望者は、事前にアポイントを取ったうえで、科目責任者の研究室を訪ねること。

■ 教科書

- ・井伊久美子他編（2024）『新版 保健師業務要覧 第4版 2024年版』日本看護協会出版会
- ・村嶋幸代他編（2022）『保健学講座1 公衆衛生看護学概論』メヂカルフレンド社

■ 参考書・参考資料等

- ・岸恵美子他編（2022）『保健学講座2 公衆衛生看護支援技術』メヂカルフレンド社
- ・標美奈子他著（2022）『標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論 第6版』医学書院

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・事前学修：シラバス該当箇所のテキストおよび参考資料を読了しておくこと。
 - ・事後学修：配布資料を確認し、理解に努めること。
- 事前・事後学修は、それぞれ90分程度行うこと。

■ 担当教員からのメッセージ

公衆衛生看護管理の内容は多岐にわたっており、探求すればするほど奥深いものです。一緒に公衆衛生看護管理を極めていきましょう。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

研究室 12、rsuzuki★iwate-uhms.ac.jp

（※メールの際は★を@にしてください）

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

保健師・研究職

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

保健師の実務経験を活かして、専門的かつ実践的な講義をしています。